

令和6年度県立社会福祉施設のあり方専門分科会における  
主な委員意見について

資料3-2

No.	回数	委員名	該当箇所	意見	対応	頁
1	第2回	関委員	はじめに	「はじめに」に掲げる理念について、地域福祉や地域共生社会づくりを目指すという趣旨であれば、入所施設に限定した言い回しを検討してほしい。また権利擁護については、方向性だけでなく基本理念にも掲げるべき。	「はじめに」に反映	1
2	第2回	松本委員	はじめに	「はじめに」の「社会的弱者や少数者」という言葉は、対象が広くなりすぎ、意味が捉えにくいのではないかと。前回意見具申の「利用者一人一人のニーズに対応したサービス」の方が入所施設に焦点を絞っており、わかりやすい。「セーフティネット」も同様に漠然としてしまうため、ビジョンなどから異なる表現を探した方が良い。	「はじめに」及び「今後も県が運営する必要がある施設の考え方④」に反映	1,6
3	第3回	小林委員	けやき荘・かしわ荘・かえで荘	P15の「入所者の人格・人権等の尊重を第一として」という表現について、職員は頭では理解していると思う。ただ、日々煩雑な業務の中で、他人の目もないことから、人としてではなくモノのような扱いをしてしまう場面というのがまれにある。目の前の入所者と対峙したときに、その方の背景を想像しながら関わっていくのが重要。	「はじめに」を肯定する意見	1
4	第1回	松本委員	—	マイノリティへの手厚い福祉サービスの提供は県でなければならない。小児医療もその最たるもの。こういった役割は最後の最後まで県に担ってもらうことが必要。	2 県立社会福祉施設の役割 (1)県が果たすべき役割①、 (3)今後、県に求められる役割③ に反映	5,6
5	第3回	村田委員	—	NHKの特集でグループホームでの虐待が取り上げられていた。根本的な原因としては、働く人がいない、監視する立場の行政も職員が十分にいないということだと思った。	2 県立社会福祉施設の役割の (1)県が果たすべき役割①を肯定する意見	5
6	第1回	森田委員	—	障がい者と健常者、障がい児と健常児が交流することも大切。畑仕事でもゲームでも、一緒にやればいい。太陽の国ももっと開けたものにすれば利用者が増えるのではないかと。	2 県立社会福祉施設の役割 (1)県が果たすべき役割②に反映	5
7	第2回	小林委員	2 県立社会福祉施設の役割 (1)県が果たすべき役割	県が果たすべき役割について、事業者への「指導監査」や「研修事業」というのは昔からやっていることだと思う。今の時代の姿として、民間との「協働」や「連携」を掲げられないか。このVUCAの時代(将来の予測が困難な時代)において、福祉施設が役割を終えたと判断するのは、すごく難しいのではないかと。引き続き慎重に議論していきたい。	2 県立社会福祉施設の役割 (1)県が果たすべき役割②に反映 3 県立社会福祉施設のあり方検討にあたっての基本的な方向性⑤を肯定する意見	5
8	第1回	森田委員	—	虐待の背景には、支援者の未熟さもあると思う。支援者の資質向上は重要。職員だけでなく、施設長や管理職にも研修を受けてもらわなければ、施設は変わっていかない。	2 県立社会福祉施設の役割 (1)県が果たすべき役割③に反映	5
9	第1回	小林委員	—	虐待事件は痛ましいが、職員個人だけを責めることはできないのではないかと。創業期と何十年運営してからでは、職員のモチベーションや教育、研修の面で課題が生じていることもあるのではないかと。	2 県立社会福祉施設の役割 (1)県が果たすべき役割③に反映	5
10	第3回	森田委員	—	お金儲けから始まる事業だと、虐待に走ってしまうのではないかと。特に重度の方のグループホーム(地域生活への移行)は難しいと感じている。どこからが虐待に当たるのかという基準を県で示してほしい。 県に期待することは、入所施設への支援、施設長も含めた教育や研修、そして目を光らせてほしい。	2 県立社会福祉施設の役割 (1)県が果たすべき役割③を肯定する意見	5
11	第1回	江川委員	—	採算ベースに乗せられる事業、民間でできることは民間でやっていくべき。 収支バランスをとりながら、専門性を生かして地域貢献していくのが民間の役割だと思っている。逆に採算のとれない福祉サービスは公共で提供してもらい、私たちも納税することで助け合い、支え合っていく意識が大切。	2 県立社会福祉施設の役割 (2)民間に期待される役割に反映	5
12	第3回	村田委員	—	施設整備においても、経営においても、とにかく人口減少・少子高齢化を念頭に置かなければならない。施設で働く職員がいない、入所者の高齢化、ひいては高齢者施設や障がい者施設に入所できないという事象につながっている。そのような中でも、経営者は地道に、賃金を上げて働く人に選ばれる施設を目指していけば、質の悪い事業者は自然と淘汰され、撤退していくはず。	2 県立社会福祉施設の役割 (2)民間に期待される役割を肯定する意見	5

令和6年度県立社会福祉施設のあり方専門分科会における  
主な委員意見について

資料3-2

No.	回数	委員名	該当箇所	意見	対応	頁
13	第3回	舟山参考人	—	障がい者施策は地域生活にどうやって移行していくか、ということが大きな課題になるので、入所者の地域移行も見据えて、障がい者施設にどういう機能を持たせたら良いかということは、検討していくべき。(意見具申の範囲ではないかもしれないが)障がい者の地域生活を支えるための様々な取組やサービスを、国や県で考えていただきたい。	3 県立社会福祉施設のあり方検討に当たっての基本的な方向性 ①を肯定する意見	7
14	第3回	森田委員	—	身近な障がい者の親御さんでも、子どもを施設に入れるという方が増えている。余生は自分のために生きていきたいという声もある。これはもう、個人の選択だと思っている。	3 県立社会福祉施設のあり方検討に当たっての基本的な方向性 ①を肯定する意見	7
15	第2回	関委員	施設全般	各施設の方向性について、継続的な課題も多くある中で、「新たな課題」という項目立てにすると難しいのではないかと見出しと中身が一致するように修正すると良い。	「利用者の状況の変化、社会情勢の変化を踏まえた課題等」に見出しを修正	8-21
16	第2回	関委員	施設全般	掲げた「課題」と「今後の方向性」がかみ合っているか、今一度確認していただきたい。特にばんだい荘あおばについて、課題として「地域移行が難しい」としているのに対し、「安易な長期化の防止を図る」というのは、違うのではないかと。	意見を踏まえ、全体的に「課題」と「今後の方向性」が対応するよう修正	8-21
17	第2回	森田委員	総合療育センター	発達障害に気づける職員、対応するスキルのある職員を育成していただきたい。	4 県立社会福祉施設それぞれのこれからの方向性 (4)医療型障害児入所施設 ①総合療育センター「課題を踏まえた今後の方向性」に反映	11
18	第2回	小林委員	総合療育センター	ご家族の行動に悩む方が、発達障害の診断が半年待ちと聞いて途方に暮れる話を聞いた。改善されてほしい。	4 県立社会福祉施設の役割 (4)医療型障害児入所施設 ①総合療育センター「課題を踏まえた今後の方向性」に反映	11
19	第3回	江川委員	総合療育センター	総合療育センターにおいて、発達障害の診断に時間がかかる・待ち時間がすごく長いという課題は、引き続き保護者からよく聴く。意見具申には、努力していきますという姿勢を反映していただいたものと受け止める。	4 県立社会福祉施設それぞれのこれからの方向性 (4)医療型障害児入所施設 ①総合療育センター「課題を踏まえた今後の方向性」を肯定する意見	11
20	第3回	吉田委員	総合療育センター	発達障害は幼児教育の段階から早期発見・早期対応が欠かせないと考えている。引き続き早期支援をお願いする。	4 県立社会福祉施設それぞれのこれからの方向性 (4)医療型障害児入所施設 ①総合療育センター「課題を踏まえた今後の方向性」を肯定する意見	11
21	第3回	関委員	ばんだい荘わかば	ばんだい荘わかばは児童福祉施設なので、「入所期間が長期化している」という課題には違和感がある。むしろ、行動障害や発達障害、重介護状態にある入所者が多くなっていることを課題として挙げ、今後の方向性にそれらへの対応について記載してはどうか。 「医療的ケア等を必要とする入所児童が増えている」という課題に対する対応策が今後の方向性に記載されていない。	4 県立社会福祉施設それぞれのこれからの方向性 (5)福祉型障害児入所施設 ②ばんだい荘わかばの「社会情勢の変化を踏まえた課題等」及び「課題を踏まえた今後の方向性」に反映	13
22	第2回	江川委員	太陽の国入所施設	現地視察に参加し、太陽の国の施設が老朽化しているということはよくわかった。最後に新しくなった施設(けやき荘)を見て、今の時代に合った、個人が尊重された施設というものを改めて実感し、まだ古い施設も徐々に移行できると良いと感じた。	4 県立社会福祉施設それぞれのこれからの方向性 (6)障害者支援施設 ①太陽の国ひばり寮②太陽の国けやき荘・かしわ荘・かえで荘の「課題を踏まえた今後の方向性」に反映	14,15
23	第2回	村田委員	太陽の国入所施設	今の入所者の高齢化、そして職員の高齢化等、先々を考えて見極めて、前に進むべき。	4 県立社会福祉施設それぞれのこれからの方向性 (6)障害者支援施設 ①太陽の国ひばり寮②太陽の国けやき荘・かしわ荘・かえで荘の「課題を踏まえた今後の方向性」に反映	14,15

令和6年度県立社会福祉施設のあり方専門分科会における  
主な委員意見について

資料3-2

No.	回数	委員名	該当箇所	意見	対応	頁
24	第2回	森田委員	太陽の国 入所施設	建替後の施設は居室が個室で、今の時代に合っていると感じた。4人部屋がトラブルになるというのも、今後解消していくべき課題だと思う。	4 県立社会福祉施設それぞれのこれからの方向性 (6)障害者支援施設 ①太陽の国ひばり寮②太陽の国 けやき荘・かしわ荘・かえで荘の 「課題を踏まえた今後の方向性」 に反映	14,15
25	第3回	関委員	太陽の国 入所施設	新築した「けやき荘、かしわ荘」と建替える「かえで荘」では課題が異なることから、分けて記載してはどうか。	4 県立社会福祉施設それぞれのこれからの方向性 (6)障害者支援施設 ①太陽の国ひばり寮②太陽の国 けやき荘・かしわ荘・かえで荘の 「課題を踏まえた今後の方向性」 に反映	15
26	第3回	関委員	ばんだい 荘あおば	今後の方向性に「一体的(児者へ併設)な仕組みによる運営を行っていく」と記載されているが、そのことに関する課題が記載されていない。	4 県立社会福祉施設それぞれのこれからの方向性 (6)障害者支援施設 ③ばんだい荘あおばの「利用者の 状況の変化を踏まえた課題等」 に反映	16
27	第1回	森田委員	—	重度障害者(児)の入所施設は、病院の近く(敷地内等)でなければならぬ。看護師だけでは対応できない。	4 県立社会福祉施設それぞれのこれからの方向性 (7)太陽の国関連施設 ①太陽の国クリニック「課題を踏 まえた今後の方向性」に反映	17
28	第2回	森田委員	太陽の国 クリニック	クリニックについて、施設の職員や入所者の家族にとって、大変大事な場所だと感じた。これまで最重度の障がい者も見てきた経験から、お医者さんが施設のすぐそばにいるのは心強いと思う。医師不足はどことも課題であると思うが、改善されてほしい。	4 県立社会福祉施設それぞれのこれからの方向性 (7)太陽の国関連施設 ①太陽の国クリニック「課題を踏 まえた今後の方向性」を肯定する 内容	17
29	第2回	原委員	太陽の国 クリニック	クリニックの責務の重さは、施設入所者800名の嘱託医という役割。制度上、嘱託医の業務は診療報酬という数字としてあがってこない部分があり、また職員の健康管理を担う産業医としての役割も、収入には直結しない。クリニックが果たしている大きな役割が、必ずしも経営上の数字として表れてこないことを県にも御理解いただきたい。 結果として現状は赤字かもしれないが、施設入所者や障がい者の方たちにとって不可欠な施設であることは間違いない。県はクリニックにどのような機能を期待しているかよく考え、政策医療の発想で支えてほしい。 医大の地域枠の医師を活用してほしい。政策による誘導で、この太陽の国の医療がまわっていくように、医師を確保していただきたい。	4 県立社会福祉施設それぞれのこれからの方向性 (7)太陽の国関連施設 ①太陽の国クリニック「課題を踏 まえた今後の方向性」を肯定する 内容	17
30	第3回	関委員	太陽の国 クリニック	今後の方向性に記載されている最初の5行が長いので、「迅速に医療的ケアを提供できる医療機関が必要である」で区切ってはどうか。	4 県立社会福祉施設それぞれのこれからの方向性 (7)太陽の国関連施設 ①太陽の国クリニック「課題を踏 まえた今後の方向性」に反映	17
31	第2回	村田委員	太陽の国 クリニック、 太陽の国 交流セン ター	交流センターを視察し、活用されていないということ、時代遅れになっているということがよくわかった。他方、クリニックの院長の話を聴き、必要なところには手をかけて行くべきと感じた。施設や敷地を広くつくるより、サービスの質を深めるという観点が大事。	3 県立社会福祉施設のあり方検討にあたっての基本的な方向性 ⑤を肯定する内容 4 県立社会福祉施設それぞれのこれからの方向性 (7)太陽の国関連施設 ①太陽の国クリニックの「課題を 踏まえた今後の方向性」、②太陽 の国交流センターの「課題を踏 まえた今後の方向性」を肯定する 内容	17,18
32	第2回	松本委員	太陽の国 給食セン ター	給食センターについて、業者は入札等で公正に選定していただきたい。入所者の生活の質の向上という観点から、食事は非常に重要。	4 県立社会福祉施設それぞれのこれからの方向性 (7)太陽の国関連施設 ⑤給食センター・洗濯センターの 「課題を踏まえた今後の方向性」 に反映	20

令和6年度県立社会福祉施設のあり方専門分科会における  
 主な委員意見について

資料3-2

No.	回数	委員名	該当箇所	意見	対応	頁
33	第1回	小林委員	—	障がい児の入所施設について、入所のニーズが減ってきているという説明だったが、助けてと声を上げられない人のことも考慮してほしい。この人口減少が深刻化する社会において、弱い人に優しい社会が、子育てしやすい地域づくりにもつながるのではないかと。	「むすびに」に反映	22
34	第1回	関委員	—	自分も評議員として太陽の国には何度か行っているが、ぜひ分科会の皆様にもご覧いただきたい。特に新しい施設と古いままの施設を比べると、入所者や職員の表情が違うことが伝わると思う。	R6.9.3第2回分科会と合わせて現地視察を実施	—
35	第1回	松本委員	—	建替えには相当の費用が掛かることを踏まえた上で、なお建て替えが必要かどうか検討するため、実際に現地(新旧両方の施設)を見ることはとても大切。	R6.9.3第2回分科会と合わせて現地視察を実施	—